

# 盲導犬のルーツを探る ⑥

## 日本国内での盲導犬訓練の始まり①

### 1938年 盲導犬初来日

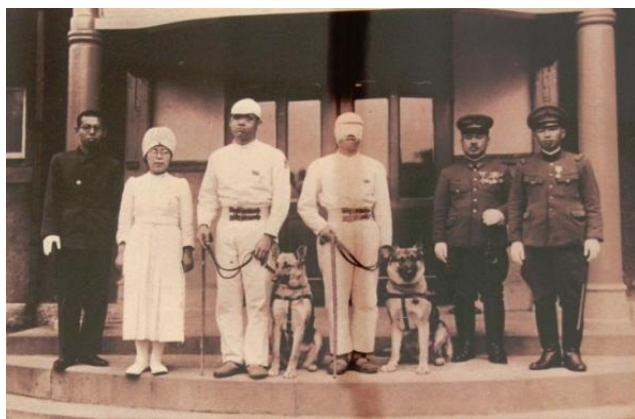
アメリカ人青年 ジョン・フォーブス・ゴードン氏（当時の新聞表記ではゴルドン君）が観光旅行で日本に立ち寄った。彼のパートナー（盲導犬）は雌のジャーマンシェパードでの『オルティー』。当時の日本には、まだ、盲導犬はいなかったため、この出来事は当時新聞でも大きく報道され、滞在中は各地で講演を行った。



当時の写真

### 1939年 ドイツより4頭の盲導犬が輸入

日本で初めて実用化された盲導犬は、ドイツから輸入された4頭のシェパード。リタ・アスター・ポド・ルティと名付けられ、臨時東京第一陸軍病院が育成の舞台となった。ドイツ同様、日本国内でも戦争で失明した兵士の社会復帰のために盲導犬を活用できないかと考えられていた。



当時の盲導犬



当時のハーネス（皮製）

### 1953年 敗戦前後の混乱で盲導犬育成事業途絶える

敗戦後の混乱で、育成された盲導犬は次々亡くなり、確認されている範囲で1953年9月まで生きた盲導犬（名前：セドー）が最後だった。